

2019年度 第1回7月阪大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

1) 部分は必須キーワードであり，この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。

2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

3) 「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

(I) 配点 60 点

問1 20 点

[指定語句]

根茎作物	穀物輸入	サヘル	換金作物	優良農地
------	------	-----	------	------

 (下線不要)

地中に育つ根茎作物のキャッサバ、タロイモ、ヤムイモは、湿潤で土壌中の水分が豊富な熱帯で栽培が盛んである。所得水準が低く、穀物輸入を大量にはできない国々の重要な主食となる。一方、地上に実るミレットとソルガムは、サヘルなど土壌が乾く乾燥地域で栽培される穀物であり、やはり主食となる。これらの生産は、植民地化で導入された落花生等の換金作物の栽培に優良農地が充てられたことで脆弱となり、食料不足が生じやすい。

【加点ポイント】

i) キャッサバ・タロイモ・ヤムイモについて (8 点)

- ① (分類) 根茎作物である →1 点
- ② (①について) 地中に育つ／土の中で養分を蓄える／いも類である／根の部分を食べる →1 点
- ③ (栽培条件) 熱帯で栽培される／高温多湿の気候下で栽培される →2 点
- ④ (用途) 主食となる／自給作物である →2 点
- ⑤ (栽培国の特徴) 所得水準が低い／発展途上国が多い →1 点
- ⑥ (栽培国の特徴) 穀物輸入を大量にできない／穀物輸入する経済的余裕がない →1 点

ii) ミレット・ソルガムについて (6 点)

- ① (分類) 穀物である／地上に実る →1 点
- ② (栽培条件) 乾燥地域／砂漠の周辺／ステップ地域 →2 点
- ③ (②の具体例として) サヘル →1 点
- ④ (用途) 主食となる／自給作物である →2 点

iii) 落花生について (6 点)

- ① (用途) 換金作物である →1 点
- ② (栽培条件) 乾燥地域／砂漠の周辺／ステップ地域／ミレット・ソルガムと同じ →1 点
- ③ (栽培の背景) 植民地化で導入された／ミレット・ソルガムから転換が進んだ →1 点
- ④ (③の問題点として) 優良農地が栽培に充てられる →1 点
- ⑤ (④により) 自給作物を栽培できない／食料不足が生じやすい
／穀物輸入に頼らざるを得なくなる →2 点

問2 20点

〔指定語句〕 ウオトカ 農業組織 ダーチャ 肥沃 油脂作物 アラル海 (下線不要)
冷涼なA周辺はウオトカの原料となるライ麦やジャガイモの栽培が盛んであり、ライ麦等の穀物は農業組織、ジャガイモや野菜は菜園付き別荘のダーチャ等で個人の副業経営により主に生産される。肥沃なチェルノーゼムが分布するB周辺は、小麦や油脂作物のヒマワリ種子の栽培が盛んである。乾燥するC周辺は灌漑網の整備で広大な綿花産地となったが、河川からの過度な取水で流入先のアラル海の水位が低下し、漁業や水運業が崩壊した。

【加点ポイント】(★i～iiiで 20点を超えない)

i) A周辺について (7点)

- ① (自然環境) 冷涼/湿潤 →1点
- ② (農業について) 穀物栽培/小麦栽培/ライ麦栽培/混合農業 →1点
- ③ (②について) 農業組織 (コルホーズを引き継いだ企業) により生産される →1点
- ④ (農業について) ジャガイモ栽培/野菜栽培 →1点
- ⑤ (④について) ダーチャで栽培される →1点
- ⑥ (⑤について) 個人の副業として/住民経営/郊外の別荘の菜園で栽培 →1点
- ⑦ (ライ麦・小麦・大麦・ジャガイモのいずれかについて) ウオトカの原料になる →1点

ii) B周辺について (8点)

- ① (自然環境) 半乾燥/適度な降雨がある →1点
- ② (自然環境) 肥沃なチェルノーゼムが分布 →2点 (「肥沃な土壌」のみ →1点)
- ③ (農業について) 小麦の栽培が盛ん →2点
- ④ (農業について) 油脂作物としてヒマワリ種子が栽培される →2点
- ⑤ (農業について) 大規模栽培である/企業的に栽培される/輸出用である →1点

iii) C周辺について (8点)

- ① (自然環境) 乾燥する/少雨である →2点
- ② (農業について) 綿花が栽培される →1点
- ③ (②について) 灌漑により栽培される →1点
- ④ (③について) 河川からの取水/アムダリア川・シルダリア川からの取水
/アラル海への流入河川からの取水 →1点
- ⑤ (③④の問題点) アラル海の水位の低下/アラル海の縮小
/過剰な灌漑による土壌の塩性化 →2点
- ⑥ (⑤の影響) アラル海付近の塩害/漁業の不振/水運業の崩壊 →1点

問3 20点

[指定語句]

生産責任制	交通網	商業的	日本	牛乳
-------	-----	-----	----	----

 (下線不要)

中国では、生産責任制が導入されて人民公社が解体され、国に一定量の穀物を売れば残りの農産物は農家が自由に売買できるようになった。また、交通網の発達により農産物を遠隔地に輸送しやすくなった。よって、各地で商業的な農業が成長し、温暖湿潤で周辺の大都市や日本への輸送に便利なXでは、野菜の生産が急増した。また、冷涼で草原が広がるYでは伝統的な遊牧に加えて酪農も成長し、中国本土へ牛乳が出荷されるようになった。

【加点ポイント】

i) 中国農業の制度的変化について (6点)

- ① (1980年代以前について) 人民公社による／集団農業／共同生産／平等分配 →2点
- ② (1980年代前半～) 生産責任制の導入 →2点
- ③ (②について) 余剰作物を農家が自由に売買できる →2点

ii) X Y共通の社会条件について (X Yそれぞれで述べていてもどちらかで加点) (4点)

- ① 交通網が発達した／交通網の整備が進んだ →2点
- ② (①により) 商業的農業が発達した／園芸農業が発達した／輸出用の農業が発達した
大消費地まで農産物を輸送できるようになった →2点

iii) Xについて (5点)

- ① (自然条件) 温暖／湿潤／野菜の栽培に適した気候 →2点
- ② (社会条件) 大都市 (ペキン・テンチン・ナンキン・シャンハイなど) に近い
／日本への輸出に便利／日本に輸出される →1点
- ③ (盛んな農業) 野菜の生産／園芸農業 →2点

iv) Yについて (5点まで)

- ① (自然条件) 冷涼／乾燥／草原が広がる／牧草に恵まれる →2点
- ② (社会条件) 牛乳の需要増加／巨大乳業メーカーの進出／牛乳を中国全土に出荷する
→1点
- ③ (盛んな農業) 酪農 →2点
- ④ (以前の農業) 遊牧 →1点

(II) 配点 40 点

問1 20 点

露天商、廃品拾い、自転車タクシー等、公的な統計に載らない経済活動をインフォーマルセクターという。人口爆発を背景に農村から余剰労働力が大量流入しているものの、就業機会が十分でない発展途上国の大都市に多い。これに従事する人々は低収入で高価な家を持たず、ホームレスになるか不法に占拠した土地にスラムを拡大させる傾向がある。また、子供を産んでも養育することができず、ストリートチルドレンが増える原因となる。

【加点ポイント】

i) インフォーマルセクターについて (5 点)

- ① (語義として) 公的な統計 (記録) にのらない経済活動 / 納税しない仕事 → 3 点
- ② (具体例として) 露天商 / 廃品拾い / 自転車タクシー (輪タク) / 靴磨き / 行商 → 2 点

ii) 増加の著しい地域 (4 点)

- ① 発展途上国 → 2 点
- ② (①の) 大都市 / プライメートシティ → 2 点

iii) 増加の背景 (5 点)

- ① 人口増加 / 人口爆発 → 1 点
- ② 農村の余剰人口が流入 → 2 点
- ③ 就業機会が不十分 / 失業者の増加 → 2 点

iv) 問題点 (6 点)

- ・ ホームレスの増加 / スラムの拡大
 - ・ ストリートチルドレンの増加
 - ・ 治安の悪化 / 衛生状態の悪化 / 感染症の拡大 / 栄養不足人口の増加
- } 1つ3点
6点まで

問2 20点

日本の大都市は、人工排熱の増加や緑地の減少からヒートアイランド現象が顕著である。よって、暖められた空気が上昇気流となることで急速に雨雲が発達し、ゲリラ豪雨と呼ばれる予測困難な局地的大雨が降りやすい。また、コンクリートやアスファルトの舗装面、建物の増加から雨水が地中に浸透せず速やかに側溝や河川に集中し、溢れた水で市街地が冠水しやすい。さらにその水が地下街や地下鉄に流入し、被害が拡大する危険性も高い。

【加点ポイント】

i) 都市型水害の理由について (8点)

- ① 局地的大雨が降る／ゲリラ豪雨が起る／短時間強雨が起る →3点
- ② (①の要因として) ヒートアイランド現象が起る／舗装面の増加
／人工排熱 (自動車・エアコン) の増加／緑地の減少
／高層建築物で風の通りが悪い →2点
- ③ (②により) 局地的に上昇気流が発生／上空で急速に雨雲 (積乱雲) が発生する
→3点

ii) 都市型水害の特徴について (12点)

- ① 市街地が冠水する／住宅が浸水する／商業地が冠水する／道路が冠水する →3点
- ② 地下街が冠水する／地下鉄に雨水が流入する →3点
- ③ (①②の要因として) 舗装面の増加／建物の増加／地面の減少 →3点
- ④ (③により) 雨水が地中に浸透しない／雨水が側溝や河川に速やかに集中する
／雨水の排水が追い付かない →3点